

# 地 域 再 生 計 画

## 1 地域再生計画の名称

天体宇宙と歴史文化の融合による地域活性化プロジェクト

## 2 地域再生計画の作成主体の名称

奥州市

## 3 地域再生計画の区域

奥州市の全域

## 4 地域再生計画の目標

本市は、岩手県内陸南部に位置し、市の中央を一級河川北上川が流れており、その西側には北上川の支流である胆沢川<sup>いさわ</sup>によって開かれた胆沢扇状地が広がり、水と緑に囲まれた散居のたたずまいが広がっている。また、市最高峰の焼石岳<sup>やけいしだけ</sup>を主峰とする西部地域の焼石連峰は、ブナの原生林が多く残されているほか、北上川東側には、北上山地につながる田園地帯が広がり、その東端部には、宮沢賢治がこよなく愛したといわれる種山高原<sup>たねやま</sup>、阿原山高原<sup>あばらやま</sup>が連なるなど、市全域が緑にあふれ豊かな自然に恵まれている。

また、本市には木村栄<sup>ひさし</sup>博士が「Z項」を発見した旧水沢緯度観測所があり、現在も自然科学研究機構国立天文台水沢V L B I観測所（以下、「V L B I観測所」という。）として研究活動を続けていることから、古くから地球及び宇宙研究の最先端を担ってきた地として有名である。

旧水沢緯度観測所は、宮沢賢治がしばしばかよい、作品「風の又三郎」や「銀河鉄道の夜」の構想を育んだ場所とも考えられているが、建物の老朽化が進んでいたことから一時取壊しの話があった。しかし、市民有志からの保存・活用を求める要望や世界的な研究機関としての数々の功績と宮沢賢治との関係に代表されるような歴史的価値を次代に残すべく、その歴史的景観を残したまま「奥州宇宙遊学館」として整備することとなった。

奥州宇宙遊学館の内部には、国立天文台の協力を得て作られた年表、写真、映像等を取り込んだ歴史パノラマの展開、宮沢賢治と緯度観測所の関わりのコーナー、子どもたちが天文学や地球科学への興味と関心を持つことができる体験型展示、国立天文台が開発を手がけている4次元デジタル宇宙シアター（以下、「4 D 2 U」という。）を用いた観覧型展示を行うとともに、N P O法人イーハトーブ宇宙実践センター（以下、「イーハトーブ」という。）に施設管理を委託（指定管理）して、市民の創作活動の支援、地域団体や学校教育カリキュラムとの連動を図っているところである。

平成20年4月に奥州宇宙遊学館は開館し、現在開館1周年を迎えたところであるが、この施設の持つポテンシャルを最大限に発揮するための基盤を構築するためにも、V L

B I 観測所、イーハトーブ、地域住民及び奥州市が連携し、継続した事業を展開することが重要であり、さまざまな観点から挑戦的な活動を展開していく必要がある。

また、単なる観覧施設ではなく、体験型の活動を継続していくためには、指導者として参画していただく「人」が重要であり、この計画を進めることにより、郷土の歴史・風土を理解し、かつ、専門的な知識を有する担い手（指導者）を養成していく必要がある。

以上のことから、本地域において、最新の宇宙科学と地域の歴史文化を背景として、民・学・官の連携・協働により、将来に渡って持続する学習を創造するステージを構築することにより、人づくり、情報発信、地域の活性化を実現するため、この地域再生計画により目指すべき目標について次のとおり定める。

### **目標 1 指導者をはじめとする人材を育成するためのステージの整備**

本市の特徴でもある歴史的背景と最新の研究を続けている V L B I 観測所が立地しているという強みを生かし、天文学・文化が根ざした地域づくりを進めるため、市民レベルの天文知識の醸成、映像コンテンツや 4 D 2 U の操作を始めとする担い手の育成を進めるための取り組みとして 4 D 2 U に組み込める映像コンテンツの作成（2 点）や基礎講座等への参加者延べ 190 人を目指す。

また、子どもたちが、日常生活の中で実際の星空に触れたり、宇宙に対する想いを馳せたりする機会が少ないことから、指導者としての小・中学校の理科教諭の天文に対する興味の醸成及び専門的な知識や技術の習得するため、小・中学校教諭を対象に各々年 1 回の研修会の機会を提供し、延べ 40 人の参加を目指す。

### **目標 2 全国への情報発信と宇宙を科学する心を育むためのステージの整備**

全国レベルで宇宙を科学する心を育むことを目的として、イーハトーブ銀河賞（仮称）を創設し、全国の子どもたちを対象に作品を広く公募することにより、延べ 350 点の作品の応募を目指す。

### **目標 3 市民に開かれた天体宇宙への関心を醸成するためのステージの整備**

地域に根ざした事業として事業を展開していくためには、市民の理解と協力が不可欠であることから、V L B I 観測所と奥州宇宙遊学館を会場に、地域の住民自治組織と連携しながら「星まつり（銀河フェスタ）」を開催することにより市民等 2,000 人の参加を目指し、参加者へ天体宇宙の不思議や身近な自然環境に直に触れてもらう機会を提供する。

また、参加者のさらなる関心に応えるため、国立天文台の関連施設や他地域の観測所等を巡るツアーへの 20 人の参加を目指すとともに、市民が最新の宇宙科学に触れ合う機会を創出するため、小さな子どもから大人までを広く対象とした星空宇宙をみんなでアタック事業や奥州市まるごと日食観察会を実施し、延べ 1,410 人の参加を目指す。

## 5 目標を達成するために行う事業

### 5-1 全体の概要

本計画においては、VLBI観測所、イーハトーブ、奥州市の協働・連携により地域資源及び歴史資源を元に市民等に広く宇宙科学への関心を深めてもらうため、次の事業を展開することにより相乗効果が期待できる。

まずは、指導者等の育成事業により、地域での宇宙科学の担い手の育成を図るとともに、将来の宇宙科学を担う子ども達を育てるため小学校及び中学校理科教諭を対象に天文分野の研修会を実施する。

また、将来の宇宙科学を担うべき子ども達（県内小学生）を対象に、自然、地球、宇宙等をテーマとした絵画や小論文のコンテストを行い宇宙科学への関心の向上を目指す。

その他、宇宙をもっと身近に感じてもらうため星まつり（銀河フェスタ）の開催や最新の宇宙科学等に触れ合うため国立天文台の関連施設や他地域の観測所等を巡るツアーを実施することにより市民の天体宇宙への関心の醸成を図る。

### 5-2 法第5章の特別の措置を適用して行う事業

該当なし。

### 5-3 その他の事業

#### 5-3-1 支援措置による取組

##### (1) 支援措置の名称及び番号

名称：官民パートナーシップ確立のための支援事業（内閣府）

番号：B2001

##### (2) 活動の概要

本計画においては、官民パートナーシップ事業として、4で記述した目標を達成するためVLBI観測所及びイーハトーブと協働・連携し、市民の宇宙科学に対する関心の醸成等を図るため以下の事業を行う。

##### ア 星空宇宙をみんなでアタック

星空宇宙を気軽に親しみ語り合う超入門プログラム。星空宇宙という共通の話題を持ちながら、身近に得られる体験を通して、幼児から高齢者まで年齢を問わず、また異業種間であっても違和感なく交流できる場を提供する。

##### (ア) 幼稚園児・保育園児と星をみよう【5団体／年】

幼稚園・保育園に天体望遠鏡を搬入して、幼児と一緒に月星をみる。観測担当者は幼児が容易に月や星を望遠鏡で見ることができるよう補助等を行う。

##### (イ) ちびっこガリレオ体験（小学生体験コース）【1クラス／年】

小学生が自分の小型望遠鏡（ガリレオタイプ）を作成し、それを用いて月や惑星を見る体験をする。400年前にガリレオ・ガリレイが初めて自分の望遠鏡を天体に向けて宇宙の不思議を発見した過程を体験する。

##### (ウ) あなたも手軽に天体カメラマン【4回／年】

小型望遠鏡と携帯電話のカメラやデジタルカメラ等を組み合わせ、月や惑星、明るい星雲等の撮影を楽しむ。撮影後はミニ展示会を行う。

イ 宇宙科学文化ナビゲータ養成

ー地域での宇宙科学文化人材創出プログラムー

宇宙科学と文化を通じ、産学官民と連携・協働し、未来に向かって持続する創造学習のため次の事業を行う。

(ア) 外部技術者等の参加による基本コンテンツの整備と専門家養成【2点/年】

イーハトーブが所有する画像・資料を用いた天体コンテンツの開発を進め、国立天文台で開発している4D2Uにも組み込めるよう映像開発ができる専門技術者を育成する。

(イ) 基礎講座（一般に説明できる基礎知識及び機器操作習得）

① 奥州宇宙科学文化コース【4回/年】

地域天文の推移、最新の天文学及び4D2Uの全体把握と操作の習得

② 宇宙ベーシック・コンテンツコース（各種機器操作含む）【4回/年】

星座等の基本理解と観察及び天体撮影のマスター

(ウ) コンテンツ製作講座

奥州市及びVLBI観測所関連の科学を基本にした民族・文化・芸術・音楽の各コースでコンテンツを製作し、イーハトーブが指定管理者となっている施設（奥州宇宙遊学館）で完成品を発表・使用する。

① 映像コース【3回/年】

各分野のテーマで企画・調査・まとめ・製作（CD及びDVD）

② 書籍コース【3回/年】

各分野のテーマで企画・調査・まとめ・製本

ウ イーハトーブ銀河賞の創設【1回/年】

次代を担う子ども達を対象に、文化と宇宙科学への関心を高めるため次の事業を行う。

(ア) 文化・芸術部門

子ども達（県内小学生）が日頃感じている自然、地球、宇宙のイメージを童話、絵画、詩、音楽に区分し、それぞれ募集する。

(イ) 宇宙・科学部門

子ども達（県内小学生）が、日頃の生活や理科で習った基礎現象を間近にした際の驚き等を自分の言葉で表現した小論文や実験結果報告を募集する。

エ 小学校教諭及び中学校教諭理科（天文分野）研修会

小学校及び中学校理科教諭を対象に、天文に対する興味を深めてもらい、児童の指導に役立つ実地的な知識と技術を習得するため次の事業を行う。

(ア) 小学校教諭部門【1回/年】

① 情報交換会 天文の授業を行う際に役立つ知識や情報を交換する。

② 講義 最新の研究を盛り込んだ講義を行う。

③ 機材・観測実習 実際に機材を用いた天体観測を行う。

(イ) 中学校教諭部門【1回／年】

- ① 情報交換会 小学校教諭部門に同じ。
- ② 講義 小学校教諭部門に同じ。
- ③ 機材・観測実習 小学校教諭部門に同じ。

オ いわて銀河フェスタ開催【1回／年】

このイベントはV L B I 観測所の市民への一般公開と連携し、専門家の講演、天文科学の企画展、夕刻からの音楽演奏と星空観察（スターウォッチング）を行う。また、星空観察では午後8時から午後8時30分まで市及び南地区協議会と協働して市民の参加と建物の消灯を呼びかける。

カ 研修会及び銀河関連地域ツアー【1回／年】

国立天文台の関連施設、他地域の観測所、関連科学館等を見学する。

### 5-3-2 支援措置によらない独自の取組

#### 奥州市まるごと日食観察会

平成21年は46年ぶりに日本で皆既日食が見られる年である。奥州市では部分日食であるが、天体が織り成す奇跡の瞬間を市民に呼びかけ観察会を開催する。

## 6 計画期間

認定の日から平成21年度末まで

## 7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

V L B I 観測所、イーハトーブ、奥州市の3者により、個別の事業について計画、実施、調査及び評価を行い、本地域再生計画の終了後、奥州市が中心となり、とりまとめを行い、次により達成状況の評価を行う。

- (1) 定量評価 来場（参加）者数等に関する調査を実施
- (2) 定性評価 来場（参加）者満足度、市民認知度の向上等に関してアンケート調査やヒアリング調査を中心に実施

## 8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

特になし。